学校番号	1016

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	公共	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「公共」（帝国書院）						
副教材等	自作プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代社会を生きる私たちには単に社会の中で生きるのではなく、自分たちの手で社会をつくっていかなければなりません。そのためには現在の社会がどのような問題を抱えているかを知らなければなりません。自分の身の回りのことに興味・関心を持ち、積極的に社会とかかわるための知識を身につけましょう。そして単にしくみや制度を考えるだけでなく、よりよく私たちが生きていくにはどうしたらよいか考える力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
人権の尊重と科学的な探求の精神に基づいて、広い視野に立ち、現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論を理解し、現代の社会と人間について理解を深める。
【思考力、判断力、表現力等】
現代社会の基本的な問題について主体的に考察し解決しようとする態度や公正に判断する力、合意形成や社会参画を想定し議論する力を育てる。
人間の在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。
【学びに向かう力、人間性等】
広い視野を持ち、地域社会や国際社会が抱える諸課題を認識し、解決しようとする態度を養い、互いに主権を尊重し、協力し合うことの大切さを自覚する態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論を理解している。	現代社会の基本的な問題について主体的に考察し解決しようとし、公正に判断し、合意形成や社会参画を想定し議論する。	地域社会や国際社会が抱える諸課題を認識し、解決しようとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	青年期と社会参画	・青年期 ・ジェンダー ・社会参画	a:青年期の特徴、ジェンダーの定義、人間関係の形成と社会への参画の意義について理解している b:青年期の特徴と自己形成の課題、社会参画ついて多面的・多角的に考察している。 c:青年期の特徴、ジェンダー、社会参画について自分自身の課題として捉え、主体的に追求している。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り
	宗教・思想・伝統文化と社会	・宗教 ・日本の思想 ・日本の伝統	a:宗教や伝統、文化，先人の取組や知恵に触れたりすることなどを通して，自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 b:各宗教の考え方や日本の思想体系、伝統の特徴について多面的・多角的に考察し，表現している。 c:宗教や伝統的思想の考え方を通して，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り

	倫理的な見方・考え方	・先哲の思想 ・各国の思想 ・現代の思想	a:個人や社会全体の幸福を重視する考え方や，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ｂ:倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見い出すことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としてのあり方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 c:公共的な空間における人間としてのあり方生き方について，現代社会に見られる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り
	社会の基本原理と憲法の考え方	・近代立憲主義 ・日本国憲法 ・基本的人権	a:民主政治や日本国憲法の基本原理、日本の政治のしくみを理解し、その知識を身につけている。 b: 公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 公共的な空間における基本的原理について，日本国憲法を踏まえて現代社会に見られる課題の解決を軸に，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り

後期	法の意義と司法参加	・現代社会と法 ・司法制度	a：権利や自由を保障し，社会の秩序が形成，維持するために法や規範が存在する意義について理解する。 b:自立した法的主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:法や規範の意義及び役割，司法参加の意義などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り
	民主社会と政治参加	・民主主義の意義 ・日本の政治機構 ・選挙制度 ・地方自治	a:政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，社会は意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれていくものであることについて理解している。 b:自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:政治参加と公正な世論の形成，地方自治などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り

	国際政治の動向と平和の追求	・国家と法律 ・安全保障制度	a:国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などを理解する。 b:自立した政治主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:国家主権，領土，我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り
	市場経済のしくみ	・市場原理 ・金融 ・財政	a:市場経済の機能と限界，金融の働き、財政及び租税の役割について理解する。 b:自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:市場経済の機能と限界，金融の働き，財政及び租税の役割などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り

	豊かな社会の実現	・産業構造 ・労働問題 ・労働三権 ・社会保障制度	a:職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を理解する。 b:自立した経済主体として解決が求められる具体的な主題について，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 c:職業選択，雇用と労働問題，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り
	国際経済の動向と格差の是正	・国際経済 ・国際貿易 ・経済格差	a: 国際社会の特質と現在抱えている問題を理解する。 b: 今後、経済的な不平等の解消、平和や安全を保障するためには国際社会はどうあればよいいか、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c: 経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む）などに関わる課題の解決を視野に，主体的に社会に関わろうとしている。	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート	・定期考査 ・ワークシート ・学習の振り返り	・ワークシート ・学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現
c:主体的に学習に取り組む態度